

市場営業部門 (三井住友銀行)



三井住友銀行
取締役兼副頭取執行役員（代表取締役）
市場営業部門統括責任役員
高橋 精一郎

2015年度実績

市場営業部門の連結粗利益は前年度比581億円減の3,256億円、連結業務純益は前年度比606億円減の2,868億円となりました。夏場以降グローバル経済の減速懸念や資源価格の低迷等を受けマーケットが不安定となる局面もありましたが、株式インデックス投信を軸とした運営により安定的に収益を確保することができました。

事業環境と今後の戦略

2016年度は、先進国の金融政策や新興国経済の動向、グローバルな政治・地政学リスクの高まり等から、マーケットの不透明感は一段と増すことが予想されます。加えて、国際的な金融規制強化により、市場の流動性が低下し、相場の変動が激しくなることも想定されます。

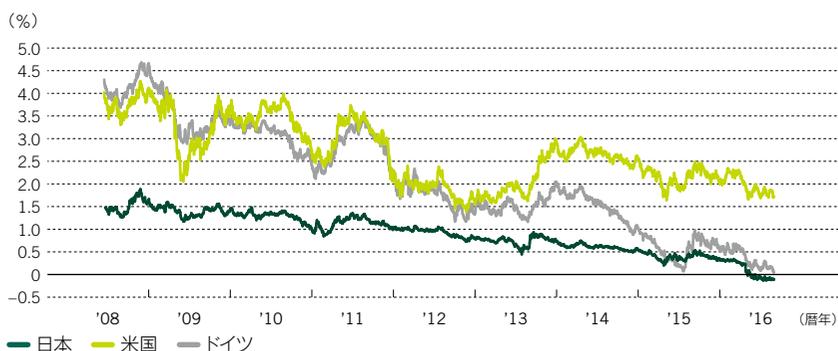
このような環境下、マーケットの変化を機敏に捉え、調達力の増強や運用手段の拡充を通じたグローバルなALM*運営を行うことで、適切なリスクコントロールのもと、安定的に収益を確保していきます。さらにディーリングにより培われた知見を、高度化・多様化するお客さまのニーズの解決に役立てていきます。

* アセット・ライアビリティ・マネジメント

米ドル/円・日経平均株価



日米独長期国債金利



▶ マーケットを通じたソリューション提供

市場営業部門では、国内外のネットワークを通じ、相場環境の変化を踏まえた各種ヘッジスキーム等のソリューションをお客さまへ提供しています。またお客さまの利便性を向上すべく、「i-Deal(インターネットを通じた為替予約等の締結システム)」の機能向上も継続的に行っています。

今後も引き続き業界最高水準のサービスでお客さまをフルサポートしていきます。



▶ 環境変化に応じた機動的なポートフォリオバランス

各国のディーラーが議論を重ね様々なシナリオを想定することで、先見性を磨きリスクリターンの最適化を図っています。

いかなるマーケット変動に対してもその変化の兆しを掴み、大胆かつ的確なオペレーションによって収益機会を捉えています。



▶ 持続可能なALM運営

運用手法の多様化・調達手段の分散により、金融規制へ対応するとともに、収益の極大化も図ります。

2016年4月からは、ALM運営高度化を実現させるため、持株会社の三井住友フィナンシャルグループおよび三井住友銀行に専門組織を新設しました。TLAC債^{*1}を含むシニア債の発行等、調達の安定性を向上させつつ、金融規則にも対応し、適正なバランスシートコントロールを実現しています。

安定的な調達手段の拡充

幅広い投資家ニーズにお応えすることで安定的な調達につなげてまいります。

2015年度実績例

- グリーンボンド^{*2} **メガバンク初**
- フォルモサ債^{*3} **メガバンク初**
- インターバンク向け人民元CD **邦銀初**
- TLAC債^{*1}

^{*1} TLAC債：グローバルなシステム上重要な銀行の破綻時に損失を負担する社債。持株会社の三井住友フィナンシャルグループが発行

^{*2} グリーンボンド：環境関連プロジェクトに資金用途を限定した債券

^{*3} フォルモサ債：台湾市場において発行する非台湾ドル建債券

